



高校生議員13名が一般質問

清水高校の3年生13名が「総合的な探究の時間『社会探求』」の学習の一環として、11月4日、本会議場で模擬議会に臨みました。

町議会の疑似体験を通じ、町政に対する提案などを発表する機会を提供することにより、本町の将来を担う高校生の社会や政治に対する参加意識の向上を図るとともに、本町の議会やまちづくりに関する理解、関心を深めることを目的として、令和2年度から実施し今回で6回目の取り組みとなります。

昨年までは事前学習1回とリハーサル1回でしたが、今年からは議会運営委員、全議員との事前学習に加え、本番後の事後学習も実施し、より充実した学びの機会としました。

事前学習・リハーサル



高校生だからこそ見える町の課題について質問したい！



どうしたらより良い町になるだろう？

- 令和7年9月2日
- 事前学習①（議会運営委員）

4グループに分かれ、これまでの学習成果をどのように一般質問へ繋げていくか、一般質問の基本を学びながら、模擬議会に向けて準備を進めました。

新たな取り組み /

- 令和7年9月30日
- 事前学習②（議員全員）

生徒の作成した一般質問素案を基に、町に提出する成案づくりへ向け、議員からのアドバイスを行いました。



相手に分かりやすく聞くのが難しい！



こんなふうに質問するのはどうだろう？



質問台に立つと緊張するけど、学習の成果を発揮するぞ！



より深く議論するためにはどんな再質問がいいかな？

- 令和7年10月28日
- 事前学習③（議員全員）

模擬議会のリハーサルを行い、当日の進行を確認した後、再質問の内容を検討しました。

